

エアコンプレッサー不具合 2

エアコンプレッサーが作動中に止まってしまう(パッケージ型 エアドライヤ付き)

※エアドライヤ付きコンプレッサーの場合はドライヤの回路に何らかの不具合があると止まってしまうことがあるので 応急処置としてコンプレッサーを動かしたいときには以下の作業を試みます。

※基板のブレーカーをOFFにします。

①扉を開けます

※扉は上部のロックの爪を外して手前に引くと開きます。

②向かって右上側に電気回路図が貼ってある黒いケースがあります。そのカバーの右側上下のビス2本を取り外します。(紛失注意)

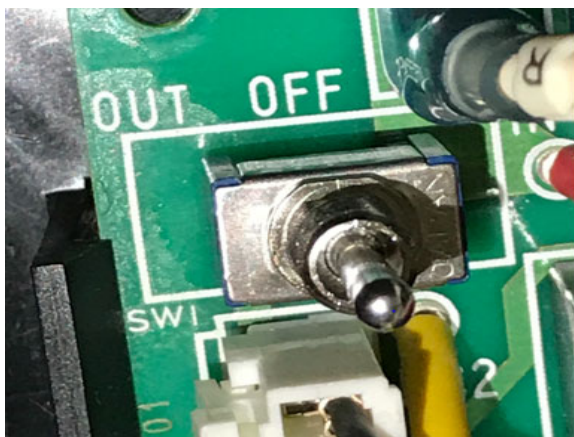
③カバーを開いて内部を確認します。基板の上側奥にドライヤのスイッチがあるのでスイッチ位置の確認をします。(赤丸内)

④スイッチ位置の確認

通常は右側に倒しておきます⇒AUTO
中立位置は⇒ドライヤOFF
左側に倒すと⇒ドライヤ連続運転

⑤スイッチを中立位置にします。基板のブレーカーを元に戻します。コンプレッサーのスイッチをONにしてコンプレッサーが問題なく作動するなら作業完了です。外した逆の手順でカバーを取付けます。

※このような状況になる場合はドライヤのフィンにホコリなどの付着が原因の場合があります。掃除機やエアガンでホコリを取り除きます。また エアコンプレッサーの使用環境は 0℃~40℃が望ましいです。



※ 症状が変わらない場合は 最寄りの 各支店・営業所までご連絡下さい